

子育ても仕事も大切にしたいから 園活ナビゲーター 事業 【合同会社 ままのえん】

事業を行った背景

- 保育園の待機児童問題等により、子育て中の女性が子どもの預け先が決まらずやむなく退職するなどの問題が生じている。
- 現状、保護者は、子どもの預け先を選ぶためには自力で各所に向向く必要があるなど、大きな困難が伴う一方、企業は従業員に対して十分にフォローができていない。
- ⇒子育て中の女性の活躍に必須となる子育て支援サービスや子どもの預け先に関する総合的な情報を提供する事業を実施。

目的・目標

- 女性の就業、起業の促進、離職防止を目的とし、次の目標を設定。
- 地域ならではの子どもの預け先情報をワンストップで提供できるスキームの創出する。(セミナー、個別相談のアンケートにおいて、5段階評価中4・5の回答を80%以上得る。)
- 利用者から「預け先を探すためのスケジュールや道筋がわかった」等の感想を得るとともに、事業の利用による就業・起業、復職事例を得る。

事業の特徴

- 子育ての当事者として子どもの預け先探しを経験した女性をスタッフとして新たに雇用。
- 公共民間関係なく「子どもの預け先に関する様々な情報」を集約したデータベースを創出し、セミナーや個別相談で情報提供。
- 企業(主に中小企業)に積極的にアプローチし、セミナーや復職のための個別フォローアップを実施。
- 相談会、セミナーといった全ての事業利用者に対して、継続したきめ細やかなフォローアップを実施し、納得できる預け先選びとなるようサポート。

連携団体

- さいたま市男女共同参画課
- さいたま市商工会議所
- さいたま市幼児政策課
- さいたま市産業創造財団
- さいたま市内各区役所支援課
- さいたま市動労政策課
- さいたま市のびのび安心子育て課
- 埼玉県ウーマノミクス課
- さいたま市学童保育連絡協議会
- さいたま市内各就労・創業支援施設

事業の効果

- 地域の実情を踏まえ収集した情報や子どもの預け先に関する基本的な考え方など幅広く情報提供を実施するとともに、個別の相談にもきめ細やかに応じた結果、利用者の8割以上からセミナーや個別相談に満足したとの回答を得た。
- セミナーや個別相談後にも継続的にフォローアップを行い、平成29年4月以降に保育園入園を希望していた28名のうち、同年3月末時点で確定しているもののみでも12名の入園が確定。

今後の課題

- 情報収集
(特に常に空き状況がゼロで入園児に困っていない施設に対して)
- 収集した情報の正確性と時点(常に最新に)
- 市の公的窓口と当事業の違いの明確化
(有効に使い分けてもらうための積極的なPR。)
- 企業向けサービスにおける、当事業の意義、企業側のメリットの理解促進
(大半は対象外の社員が占めることを踏まえたアプローチ)

事業の概要

園活ナビゲーターの育成 2016年7月～



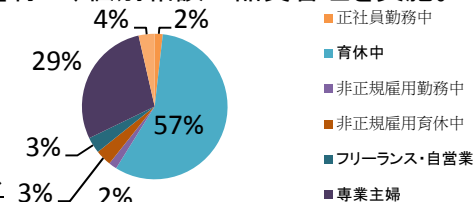
←古川氏によるスーパービジョンの様子

さいたま市に暮らす女性で、自ら園活を行ってきた女性を新たに2名雇用。
さいたまキャリア教育センター古川氏に育成研修を依頼し、ナビゲーターとして
研修、育成。継続的にスーパービジョンを行い、個別相談の品質管理を実施。

セミナーの実施 2016年8月～

2016年8月2日(火)講師:小澤千佳子 参加者:26名
2016年8月23日(火)講師:加藤恒 参加者:15名
2016年9月10日(土)講師:小林あゆみ 参加者:22名

参加者の属性グラフ⇒



個別相談会の実施 2016年9月～

事前予約制の子育て世代向け個別相談会(1時間。費用無料)を実施。
行政機関や民間の子育て支援施設からの情報や独自に収集した市内の保育園、
幼稚園、学童からの情報をもとに2017年3月末までに100件を超える相談会を
実施。

企業向け個別サポートの実施 2016年11月～

主に中小企業に対し、預け先を決められず
にいる女性の有無等のヒアリング調査を
実施(12社)し、対象となる職員に対し個別
相談を実施(2社)



メディア掲載実績

日本経済新聞社(2016年9月17日(土)地域面掲載) / NHK(2016年10月6日「おはよう日本」全国版、地域版それぞ
れ放映) / 朝日新聞社(2016年12月19日(月)東日本、九州版掲載) / FM NACK5(2016年10月7日(金)レディオファ
ントム出演) / 共同通信社(東日本を中心に配信、掲載紙は不明) / 清水市長との会談の実現(2016年8月25日(木
) / BS11 中小企業ビジネスジャーナル出演(2016年11月7日(月)) / さいたま市広報番組たまカフェ出演(テレビ埼
玉2016年12月3日・10日) / まみたん(地域情報誌)2016年冬号 広告掲載 / サンケイリビング新聞社(地域WEBメ
ディア)(2016年10月20日掲載) / たまログ2017年2月号掲載(地域情報誌 大宮・上尾版「旬☆彩女」コーナー) / さ
いたま子育てWEB(さいたま市HP)子育て情報局記事2017年1月8日 他

2017年度以降 自主事業として継続実施



- 個別相談会は継続的に予約が入っており、昨年度からのフォローアップも含め引き続き実施予定。
- セミナーは2017年6月以降、連携先企業、就労支援施設からの依頼もあり毎月1回定期的に実施予定。
- 企業向け個別サポートでは、契約確定企業が2社。断続的に問い合わせが入っている状況。